

城戸かれんさん応援レポート

コンサート&ブックリサイクル

～チェロ・フルート・ヴァイオリンの演奏～

2015年10月25日(日)

小淵沢図書館(山梨・北杜市小淵沢)

地元の皆様を対象とした恒例のコンサート

10月最後の日曜日、快晴の山梨・小淵沢。太陽の光を浴びて輝くハケ岳、一足早い紅葉の様子が美しい。

本日の会場は生涯学習センターこぶちさわ。小淵沢図書館をはじめ、地元の方々へ様々な行政サービスを提供する拠点である。

「コンサート&ブックリサイクル」と銘打って行われる本日のコンサート、今回が7回目。地元の方々に「音楽を身近に感じていただく！」という企画である。城戸さんは、永島千晴氏(フルート)、藤原秀章氏(チェロ)とともに出演の予定。



コンサート&ブックリサイクル 2015

10月25日(日)午後1時30分～
生涯学習センターこぶちさわ 軽運動場
～チェロ・フルート・ヴァイオリンの演奏～

ブックリサイクル

各々の関心のある雑誌や新聞を譲られた本などを
お譲りします。
ご予約はお受けできませんので、お早めに！
お申し込みは1人1冊までです。(種別自由)
期間：10月25日午後1時～2時(木)
会場：小淵沢図書館
※今回はコンサートとブックリサイクルは別会場です。

問い合わせ：北杜市小淵沢図書館 TEL:0551-42-1203 FAX:0551-2285

城戸さんからは、事前のメールにて「・・・クラシックに親しみを感じていただければ。演奏家として、こうした活動も大事にしています・・・」とのコメントをもらっている。

当日の小淵沢は爽やかな秋晴れ。ハケ岳と色づく木々。信州の秋空のもとに行われるコンサートが楽しみだ。



写真は会場である小淵沢図書館と周辺の様子

ヴァイオリン・チェロ・フルートを様々に組み合わせて

ハイドンの「ロンドトリオ第4番」により、コンサートが始まる。

あまり聴く機会のないヴァイオリン、チェロ、フルートによるトリオ演奏、東京藝術大学同期で付属高校時代からの友人という3人は息もぴったり。城戸さんのヴァイオリンに応えるフルートの高音、それを支えるチェロの低音、軽やかに重なりあう音色。

2曲目は同じくトリオにて、ハイドン「ロンドトリオ第1番」。ヴァイオリン、チェロ、フルートの3つの楽器での演奏曲というのはなかなかなく、探し当てるのが大変だったとのこと。

3曲目ではチェリスト藤原さんがピアニストへと早変わり(!)。ピアノ&フルートのデュオ、城戸さんのヴァイオリンとピアノのデュオ…と、組み合わせを変えて次々に曲が奏でられる。



後半は、モーツァルト「オペラ“魔笛”より」からスタート。ヴァイオリンとフルートで。滑らかに連携される音と音。

続くチェロのソロによる黛敏郎「BUNRAKU—チェロ独奏のための—」では、西洋の楽器で日本のサウンドが表現された。

3曲目はヴァイオリンとチェロのデュオでファルヴォルセン「ヘンデルの主題によるパッサカリア」。「…技巧がたくさん詰まった曲です。注目していただけたら。…あ、いただけたら、イヤですか？」とチェロの藤原さんに話題をふられ、城戸さん苦笑い。同級生同士、トークにおいても、あうんの呼吸で客席の笑いを誘う。力強さと明るさを感じさせる演奏、息遣いや、足の踏み込む音にも迫力が。

ふたたびヴァイオリン・フルート・ピアノのトリオ編成。モンティ「チャルダッシュ」。軽快な演奏が心地よい。そしてフォーレの「パヴァーヌ」でコンサートが終了した。



トリオ演奏。レアな組み合わせで聴かせてもらった

続いて、城戸さんのヴァイオリンソロ、バッハ「無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第3番よりガヴォット」。

芯のある鮮明な音、小淵沢の澄んだ空気と共鳴するかのよう。

曲間には3人の演奏者による、簡単な楽曲解説がはさまれ、終始なごやかな雰囲気。

チェロの独奏ののち、ヴァイオリンとチェロのデュオによるシューベルトの「魔王」にて前半終了。



全12曲。バラエティに富んだミニコンサート

「ミニコンサート」とタイトル付けされた演奏会であったが、全12曲、さまざまな編成、親しみのある曲も散りばめられていた。フレッシュかつ斬新な音の組み合わせ、間近で聴く生音の美しさも加わって、とても贅沢な温かな時間を過ごした。

出演を予定されていたピアニストの方が海外へ行かれてしまい、急遽の編成。フルート2本の曲をヴァイオリンとフルートへ(ハイドン「ロンドトリオ第1番」)、ヴァイオリン2本の曲をヴァイオリンとフルートで(モーツァルト「魔笛」)、ヴァイオリンソロの曲をトリオ用へ(モンティ「チャルダッシュ」)・・・と、この編曲が大変だったとの舞台裏も明かされた。



「クラシックに親しんでほしい」との本日の企画、客席には小さなお子さん達も。城戸さんと永島さんのドレス姿に「かわいい♡」と目をくりくりさせていた。今日をきっかけに、ヴァイオリン、弾いてみたくなるかな？



iPad楽譜。「新しいかたち」!

演奏終了後の城戸さんに話を聞いた。
「・・・ご存知の曲、聴かれたことのある曲なども取り混ぜて、クラシックに親しみを持っていただけたらなあと考えての選曲でした。その分、編曲するのに時間がかかりましたが」
「・・・大きなホールでの演奏会も、もちろん楽しいのですが、こうした形のコンサートも好きです。お互いの顔が見えて、みなさん、“にこにこ〜”と聴いてくださって」

途中一部、楽譜のコピー数が足りず、iPadを譜面台に置いての演奏もあった。それについては
「・・・『新しいかたち!』とでも言いますか・・・(笑)」とお茶目に答えてくれた。

城戸さん、素敵な演奏でした。
また聴かせてください!

<本日のプログラム>

ハイドン: ロンドトリオ第4番 (Fl, Vn, Vc)
ハイドン: ロンドトリオ第1番 (Fl, Vn, Vc)
フォーレ: ファンタジー (Fl, Pf)
シューマン: ロマンズ イ長調 (Vn, Pf)
バッハ: 無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第3番よりガヴォット
バッハ: 無伴奏チェロ組曲第1番よりプレリュード
シューベルト: 『魔王』より (Vn, Vc)
モーツァルト: 歌劇『魔笛』より (Fl, Vn)
黛敏郎: 『BUNRAKU』—チェロ独奏のための—
ハルヴェオルセン: ヘンデルの主題によるパッサカリア (Vn, Vc)
モンティ: チャルダッシュ (Fl, Vn, Pf)
フォーレ: パヴァーヌ (Fl, Vn, Pf)

フルート: 永島千晴氏
チェロ&ピアノ: 藤原秀章氏



